

Course number		U-LAS06 20014 SJ41					
Course title (and course title in English)		法哲学基礎ゼミナール Introductory Seminar on Philosophy of Law		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Human and Environmental Studies Professor,NASU KOSUKE	
Group		Humanities and Social Sciences		Field(Classification)		Jurisprudence, Politics and Economics(Issues)	
Language of instruction		Japanese		Old group		Group A	
				Number of credits		2	
Number of weekly time blocks		1		Class style		seminar (Face-to-face course)	
				Year/semesters		2024・Second semester	
Days and periods		Tue.3		Target year		All students	
				Eligible students		For all majors	
[Overview and purpose of the course]							
<p>毎回最新・直近の新聞・雑誌の記事（ただし英語）をとりあげ、的確にその内容をつかみ、人に伝える訓練を積むと同時に、そこに含まれている法哲学・政治哲学的問題についての理解を深めることをめざします。受験勉強とはひと味違った英文読解の訓練と現代社会における法的・政治的諸問題に対する関心の開発、そしてその理論的含蓄の探求という、一石二鳥、一石三鳥（二重苦、三重苦ではない）をねらう人のためのゼミです。</p>							
[Course objectives]							
<p>一定の長さと内容をもった英文に短時間で目を通し、細部にとらわれることなく大要を正確につかむ能力を身につけること、およびそれを素材に論点の整理、対立意見の可能性と比較検討、議論と説得の能力をのばすことをめざします。随時その背景・基礎にある理論的な意味について議論と考察を深めてもらいます。</p> <p>また、プレゼンテーションの行い方、レポートの作成方法についての初歩的な指導も行います。</p>							
[Course schedule and contents)]							
<p>海外の新聞・雑誌等のコラム記事を取り上げ、その内容を担当者に要約・報告してもらいます。そこで扱われる問題をふまえて参加者で討論し、その過程で問題の背景にある理論的争点に対する洞察力を身につけていくことになります（担当教員による示唆・助言あり）。テーマは法か政治に（どこかで）関わることであれば何でも。最初は担当教員がテキストを選んで適宜提供しますが、馴れてきたら参加者みずから好きなテーマと記事を選んでもらうかもしれません。</p> <p>適宜、取り上げたテキストをもとにしたプレゼンテーション、レポートの作成にも取り組んでいただきます。</p> <p>ありうるテーマは以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none">・戦争と国際正義・同性婚と「家族」の未来・グローバリズムの光と陰・表現の自由とヘイト・スピーチ・情報社会とプライバシー							

Continue to 法哲学基礎ゼミナール(2)							

法哲学基礎ゼミナール(2)

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

出席して議論に加わること（60点相当）、課題を提出し、率先して問題提起を行うこと（40点相当）。

[Textbooks]

Instructed during class

[References, etc.]

（References, etc.）

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

隔週で簡単な宿題を出す予定です。また、議論の素材にしたい英文テキストを各自探しておいてください。

[Other information (office hours, etc.)]

質問・苦情・要望・相談・面談の申し込み等はnasu.kosuke.6a@kyoto-u.ac.jpにて申し受けます。